

医学研究へのご協力をお願い（後ろ向き研究）

当院では、診療で得られた情報を用いて、医療の質を向上させることを目的とした研究を行っております。今回、下記の研究を実施いたしますのでお知らせします。

この研究は、すでに診療が終了している方の診療記録をもとに行う**後ろ向き研究（レトロスペクティブ研究）**であり、対象となる方に直接のご負担や危険は一切ありません。

なお、この研究への参加を希望されない方は、お手数ですが下記の連絡先までお知らせください。ご連絡がない場合には、同意をいただいたものとさせていただきます（オプトアウト方式）。

■ 研究課題名

当院の緊急帝王切開の実施時間帯について

■ 研究目的

当院で行われた緊急帝王切開について、手術が実施される時間帯の傾向を調査し、医療体制の適正化や安全性向上に役立てることを目的としています。

■ 研究対象

2024年1月1日～2024年12月31日の間に、当院で緊急帝王切開を受けられたすべての妊婦の方

■ 使用する情報

患者さんの診療記録（年齢、分娩歴、手術時間、手術適応、曜日など）を匿名化したうえで集計・解析いたします。

研究期間：倫理委員会承認日から2026年3月まで

■ 個人情報の保護

研究に使用する情報はすべて匿名化し、氏名・IDなど個人を特定できる情報は含まれません。外部に漏洩しないよう、厳重に管理いたします。

■ 研究成果の発表

本研究の結果は、学会や学術雑誌で発表される可能性があります。個人が特定されることは一切ありません。

■ 利益相反

本研究に関連して企業などからの資金提供はなく、研究者に開示すべき利益相反はありません。

■ 研究体制

- 主任研究者：高岡 宰（産婦人科医長）
 - 分担研究者：北村圭広（産婦人科医師）、大久保智治（産婦人科部長）
 - データ管理・入力：診療情報管理室および研究担当者
-

■ 研究への協力を希望されない方へ

本研究はオプトアウト方式を採用しております。

研究への情報利用をご希望されない場合は、下記までお申し出ください。申し出があった場合は、その方の情報を研究対象から除外いたします。その場合でも患者さんに不利益は生じません。

■ 問い合わせ先

京都第一赤十字病院 産婦人科

担当医師：高岡 宰（研究責任者）

075-561-1121（代表）

ご不明な点やご質問がございましたら、遠慮なくお問い合わせください。